

達成率の計算方法：実績値/目標値

事業内容達成率評価 A：90%以上 B：89~70% C：69~50% D：49~30% E：30%

(単位：千円)

基本施策	基本施策の説明	基本施策項目	施策(事業)の名称	施策(事業)概要	取組内容	R2 R3 R4 R5 R6					R4予算額	R5予算額	令和4年度事業実施状況	達成率評価	
						指標	実績	達成率(%)	指標	実績					達成率(%)
(1) 森林の大切さの啓発と魅力の発信	森林の大切さ、魅力などの情報を発信し、森林の重要性について理解を深め、市民の関心を高める。	① 広報・イベントの開催	1	広報媒体による森林・林業の情報発信	広報ながはま、本市ホームページ等を通じて森林の多面的機能等の情報や、森林整備の手法等を発信する。	広報紙や本市ホームページ等への掲載数(回)	5	5	5	5	5	0	0	【実施内容又は未実施理由】 里山・森林整備活動に対する支援制度や伐採に関する届出等、各種情報の発信に努めた。 制度関係4件… 伐採届出、所有者変更届出、火入れ許可、市産材森林活用3件… 林地台帳の公開、森林マッチングセンター紹介、トレイルコース案内周知関係3件… 森づくり計画、企業の森(とらっくんの森)、風倒木関係その他1件… 特定間伐等促進計画 【課題等】 市民の情報獲得手段として、広報紙及び市ホームページは比重が高いと考えるので、情報発信の頻度や情報量が高まるように取り組む。	A
			2	森林多面的機能に関するイベントの開催や支援	市民が森林の有する多面的機能に対する理解や関心を高められるイベント等の開催を支援する。	イベント等の開催・支援数(回)	1	1	1	1	1	0	0	【実施内容又は未実施理由】 ながはま森林マッチングセンターに業務委託し、森づくりに関する講座や講習、講演会等の開催を行った。 - 全国植樹祭サテライト会場事業 6/5 - 土倉の森写真展 9/5~9/11 - おうみの森づくり事業(滋賀県トラック協会) 11/3 - 奥びわ湖・山門水源の森現地交流会 11/12 - ながはま森林マッチングセンター講演会 3/12 【課題等】 参加層が広がるように、市北部地域での開催ばかりではなく、市街地やまちづくりセンター等での開催も拡大しているが、引き続き、参加層の拡大とセンター認知度の向上に向けて取り組む。	A
		② 木育の推進	3	木育活動支援事業	子ども達が幼いころから木製おもちゃに触れ合うことで、木の香りやぬくもりを感じて感性豊かな心の発達を促し、森林に対する親しみや木の文化への理解を深める。	体験活動の実施回数(回)	2	2	2	2	2	8,802 (1,200)	8,766 (1,200)	【実施内容又は未実施理由】 市内の森林資源を活かした「体験型木育事業」の創出に向けて、ながはま森林マッチングセンターと連携し、地域おこし協力隊や自伐型林業実践者、やまのこ指導員の協力を得て、体験事業3回及び研修会1回を実施した。 - 保育士等活動者研修(余呉町坂口) 10/9開催、12人 - 公募型木育体験 ①10/10開催、余呉町坂口、39人 ②11/19開催、加田町、54人 - 長浜南認定こども園(加田町) 10/26開催・5歳児10人 【課題等】 引き続き、木育の体験機会の確保や指導者研修を開催するほか、市内保育施設に対するヒアリングや施設周辺でのフィールド調査等を実施し、木育事業の取組みや協力施設の拡大に向けて取り組む。	A
(2) 市民の協働による森林づくり	森林づくり団体、市民団体、森林所有者、企業などが主体的に里山の保全活動を行うことを支援する。	① 市民参画の推進	4	長浜市森林多面的機能推進事業	本市内の森林の有する多面的機能を発揮させるための整備活動を支援する。	支援団体数(団体)	10	10	10	10	10	3,550	2,250	【実施内容又は未実施理由】 森林所有者や地域住民等が行う里山林の保全、森林資源の利活用、森林環境学習に対して支援を実施した。 - 森林多面的機能推進事業(最大20万円/年) 9団体うち新規2団体 - 森林多面的機能維持管理事業(最大5万円/年) 5団体 【課題等】 令和5年度は、5月12日に審査会を実施し、推進事業で5団体(うち新規1団体)、維持管理事業で8団体の事業を採択した。 引き続き、補助制度について周知に努め、森林所有者や地域等による自主的な活動を推進していく。	A
			5	みどりの里親制度【都市計画課】	苗木育成資材を配布することにより、市民が種子から苗木を育て、その苗木を里山等へ植樹する。	植樹した樹木本数(本)	10	10	10	10	10	80	80	【実施内容又は未実施理由】 どんぐり育成ポットを配布し、2年後に植樹会に参加いただく事業。 令和2年度のどんぐり配布イベントが新型コロナの影響で中止となり、苗木がないため、植樹イベント自体は中止になった。 【課題等】 令和5年度は、植樹イベントを実施予定	E
			② 企業参画の推進	6	企業の森(滋賀県森林づくりパートナー協定)	企業と森林所有者が協定を締結し、企業の資金提供により森林整備を実施する。	協定企業の活動に対する支援回数(回)	1	1	1	1	1	0	0	【実施内容又は未実施理由】 協定に基づき、獣害被害防止のテープ巻き及び森林環境学習を実施した。(概要) 11/3実施 実施主体：滋賀県トラック協会・滋賀県造林公社 場所：とらっくんの森(岡谷 分収造林契約地) 参加者：パートナー企業の従業員及びその家族 【課題等】 当市では、西浅井町集福寺市有林を候補地として登録している。 全国植樹祭の開催やSDGs等への関心の高まりから、県への問い合わせは増加しているが、立地や所有者の受入体制等が企業の希望条件に合致せず、締結に至らないケースも多い。(令和4年度県全体：新規3件、延長2件)

基本施策	基本施策の説明	基本施策項目	施策(事業)の名称	施策(事業)概要	取組内容	R2					R4予算額	R5予算額	令和4年度事業実施状況	達成率評価	
						R2	R3	R4	R5	R6					
(3) 次代の森林を支える人づくり	さまざまな世代で森林環境学習が進められ、森林の重要性が広く認識されるとともに、森林づくりを支える人材の確保・育成を推進する。	① 市民への森林環境学習の推進	7 森林環境学習「やまのこ」事業 【教育指導課】 【森林田園整備課】	子どもたちの森林への理解と関心を深めるため、小学校4年生を対象に森林環境学習施設において体験学習等を行う。	活動学校数(校)	指標	25	25	25	25	25	教育指導課 5,290 森林田園整備課 8,484	教育指導課 4,977 森林田園整備課 8,505	【実施内容又は未実施理由】 令和4年度から新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、事業実施形態を「日帰り」及び「一泊二日」を選択できるようになったが、「うみのこ」が日帰り形式であったため、日帰りの学校が多かった。 【課題等】 令和5年度は、宿泊を選択される学校が新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準まで回復する見込み。 (R1実績：宿泊12校・日帰り14校⇔R5計画：宿泊10校・日帰り16校)	A
						実績	15	25	26						
						達成率(%)	60	100	104						
			8 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援する。	少年団数(団)	指標	12	12	12	12	12	0	0	【実施内容又は未実施理由】 緑の少年団 12団(うち2団が休止中) 助成金額 790千円(@80千円×9団、@70千円×1団) 事業名称 緑の少年団育成強化事業助成金 助成元 公益財団法人 滋賀県緑化推進会 【課題等】 児童の減少により令和4年度に休止団体(高時小)が解散されたが、今年度に1団(北郷里小)が結成された。	B
						実績	12	10	10						
						達成率(%)	100	83	83						
			9 長浜の自然と森に親しむ体験交流事業	山門水源の森や奥びわ湖桜並木をはじめとする地域資源を活用し、交流人口の増加や自然環境教育の推進を行う。	講師派遣回数(回)	指標	15	15	15	15	15	8,802 (4,596)	8,766 (4,790)	【実施内容又は未実施理由】 長浜の自然と森に親しむ体験交流・保全事業委託 「森林環境保全員」を市内学校に派遣した。合計16回/延7校、その他8回 -山門水源の森学習8回、やまのこ学習支援4回、山門・地層学習4回 【課題等】 引き続き、学校施設や地域への森林環境保全員を派遣するほか、学習会や講習会等を開催し、当市北部地域が有する地域資源を活用し、交流人口・関係人口の増加や自然環境教育の推進に取り組んでいく。	A
						実績	8	14	16						
						達成率(%)	53	93	107						
		桜並木保全本数(本)			指標	180	180	180	180	180	8,802 (2,911)	8,766 (2,627)	【実施内容又は未実施理由】 長浜の自然と森に親しむ体験交流・保全事業委託 -桜並木保全対象 3,260本、令和4年度保全対象 203本 【課題等】 奥びわ湖桜並木保全事業の対象木3,260本のうち、約65%の桜でテングス病が確認されている。 今後も、地域資源の保全とその活用による地域振興につなげていくため、樹木医の指導のもと、病変部の剪定や樹木の植替え等を進め、桜の適正管理に取り組む。	A	
					実績	183	200	203							
					達成率(%)	102	111	113							
		10 林研グループ育成事業	森林・林業の知識や技術の普及・研究活動を通じた人材育成を行う林業研究グループ等の人材育成活動を支援する。	支援林研グループ数(グループ)	指標	2	2	2	2	2	244	240	【実施内容又は未実施理由】 北近江林友会 40人 長浜市伊香林業研究グループ 24人 【課題等】 会員の高齢化や会員数の減少に伴い、活動の縮小や停滞が懸念される。 なお、令和5年度は、増減はない見込み。	A	
実績	2				2	2									
達成率(%)	100				100	100									
11 自伐型林業推進事業	市内の森づくりの担い手や森林活動団体等を対象に、伐採や搬出作業、作業道敷設等、実践につながる森林施業の養成講座を開催する。	自伐型林業講習会の開催数(回)	指標	5	5	5	5	5	7,324	7,323	【実施内容又は未実施理由】 森林マッチング推進業務委託ほか(3回・34人) -チェンソー特別教育 13人 -広葉樹伐採実技研修 9人 -広葉樹施業研修 12人 【課題等】 体系的な技術習得や技術研さんの機会を提供できるように、令和5年度から連続講座型の講習を開催し、受講者のフォローアップを強化することで、林業の担い手確保やその育成を進める。	C			
			実績	4	3	3									
			達成率(%)	80	60	60									
12 林業体験講座の開催	林業のすそ野を広げられるよう、林業機械の操作体験や、特用林産物について講座等を開催する。	講習会開催数(回)	指標	5	5	5	5	5	7,324	7,323	【実施内容又は未実施理由】 -原木シイタケ植菌講習会 39人 -マツタケ山再生 7人 -刈払機講習会 11人 -チップパー操作研修会 7人 -林業体験(3回) 11人 -桜守講座(2回) 46人 合計121人 【課題等】 全国的に林業機械や森林作業による事故、労災も多いことから、操作研修のほか、安全講習や救急法に関する講座も実施していく。	A			
			実績	5	4	9									
			達成率(%)	100	80	180									
13 林業従事者育成推進事業	「地域おこし協力隊」により、本市における自伐型林業のモデルづくりに取り組む。	林業従事地域おこし協力隊員数(人)	指標	3	3	3	3	3	0	0	【実施内容又は未実施理由】 自伐型林業テーマの実践 延べ4人(任期：最大3年) ①令和2年度採用 1人 ※R5.1.31任期満了 ②令和3年度採用 1人 ③令和4年度採用 2人 ※新規採用 ※任期満了を迎えた隊員は、現在も市内で定住済み 【課題等】 他課所管の新規隊員の募集スケジュールも踏まえて、次回の採用活動は令和6年度または7年度を見込む。	A			
			実績	3	4	4									
			達成率(%)	100	133	133									

基本施策	基本施策の説明	基本施策項目	施策(事業)の名称	施策(事業)概要	取組内容	R2					R4	R5	R6	R4予算額	R5予算額	令和4年度事業実施状況	達成率評価
						R2	R3	R4	R5	R6							
(4) 森林資源の利用拡大	長浜市の森林から産出された木材が公共施設や住宅等、さらには木質バイオマスエネルギーに活用され、長浜市産木材の適正な流通が確保されることを推進する。	① 木造住宅の建築	14	市産材を活用した木造住宅の推進	長浜市産木材利用を推進するため、市産材を活用した住宅に対し支援する。	市産材を利用した住宅の支援戸数(戸)	指標	10	10	10	10	10	2,700	2,700	【実施内容又は未実施理由】 申請13件に対して補助を行った。 【課題等】 市産材の利用拡大による市内森林資源の循環につなげるため、令和2年度に改築や増築も補助対象として拡充したが、これまで利用実績はない。また、申請件数も横ばいが続く状況にあるため、広報による制度の認知を高める取組が必要である。	A	
		実績	5	9	13												
		達成率(%)	50	90	130												
		② 公共施設での木材利用	15	市産材を活用した公共施設の建築	・公共建築物長浜市産材利用促進基本方針に即し、低層の公共建築物については、原則として木造化を図り、内装等は、木材の利用が適切である部分は木質化を積極的に図る。 ・市産材を安定的かつ効率的に公共建築物に供給するため「公共建築物長浜市産材調達管理基金」により原木を調達し公共建築物に支給する。 ・A材、B材、C材等の木材用途に応じた流通、需給調達の体制整備を促進する。	公共建築物長浜市産材使用施設(施設)	指標	1	1	1	1	1	0	0	【実施内容又は未実施理由】 令和4年度使用実績：該当なし 令和5年度供給見込：消防分団第26分団屯所(新築)10.40㎡、他2件 【課題等】 今後、大型の公共施設建築物の整備計画がないため、公共建築物への大量の市産材の利用は大規模には見込めない。既存の公共建築物の改修・増築も含めて、市産材が利用されるように取り組む。	E	
実績	2	1	0														
達成率(%)	200	100	0														
③ 木質バイオマスエネルギーの利用	16	森のエネルギー活用推進事業	・家庭用等の薪ストーブ、ペレットストーブ等の導入に対して支援する。 ・公共施設に木質バイオマスボイラーの導入を推進する。 ・市内の山林から搬出される丸太・薪を集積、販売する「薪市場」を展開する。	薪市場出荷量(トン)	指標	320	320	320	320	320	0	0	【実施内容又は未実施理由】 あざいウッドステーション実績 令和4年度出荷実績 - パーデ浅井 258.3㎡×0.44=113.7t - その他 63.9㎡×0.44= 28.1t 計141.8t (参考：各団体による薪生産量) ・LLP木民 28.8t ・滋賀北部森林組合 74.9t 【課題等】 公共施設に木質バイオマスボイラーを導入したことにより、安定した薪需要が見込めるようになったが、施設の安定稼働において、出荷後の乾燥状態の維持が課題として残る。また、薪生産量の向上を図るには、更なる薪需要の拡大や材の確保が不可欠である。	D			
実績	138	132	142														
達成率(%)	43	41	44														
④ 特用林産物の振興	17	特用林産物の利用拡大	特用林産物の生産や利用を拡大に向けて、講座や流通促進の支援に取り組む。	体験講座の開催回数(回)	指標	2	2	2	2	2	7,324	7,323	【実施内容又は未実施理由】 森林マッチング推進業務委託 - (再掲) 原木シイタケ植菌講習会、マツタケ山再生 46人 特用林産物の利活用に係る部会の設置 - 養生アロマ部会 (12回・延べ72人) - メーブル部会 (16回・延べ112人) 【課題等】 シイタケ植菌体験は、毎年、参加申込が多い講座であるが、自家消費を目的とした参加者が多いことから、経済的に「特用林産物の生産や利用」に取り組むための発展的な講座や事業を検討する必要がある。	A			
実績	3	5	3														
達成率(%)	150	250	150														

基本施策	基本施策の説明	基本施策項目	施策(事業)の名称	施策(事業)概要	取組内容	達成率					R4予算額	R5予算額	令和4年度事業実施状況	達成率評価	
						R2	R3	R4	R5	R6					
(5) 効率的な 木材生産	森林境界の 明確化を進めるとともに、 施業の集約化や高性能林業機 械の利用により効率的な木材生産 が行われることを推進する。	① 森林施業の 団地化・集 約化	18 森林施業の団地 化・集約化の推 進	施業の集約化と森林境界の明確 化を一体的に進めるため、滋賀 県、本市、森林組合が連携して 山村地域の自治会等を対象に説 明会を開催する。	集約化施業 団地数 (団地)	指標	22	22	22	22	22	0	0	【実施内容又は未実施理由】 (1)滋賀北部森林組合 : 8 団地 (2)長浜市伊香森林組合 : 20 団地 (うち滋賀県造林公社との共同計画 1 団地) (3)滋賀県造林公社 : 1 団地 (4)滋賀県 : 1 団地 - 市同席の地元説明会 5 回 (滋賀北部 3 回、長浜市伊香 3 回) 【課題等】 森林所有者の高齢化や不在村森林所有者がより一層進行・増加すること により森林所有者の特定や森林境界の確定が困難になることが見込まれる。	A
						実績	32	30	30						
						達成率 (%)	145	136	136						
		② 路網整備と 維持管理	19 路網整備と維持 管理	・林道、林業専用道の開設を推 進するとともに、安全な通行を 確保するため維持管理を行う。 ・大雨や台風および降雪により 被災した林道については、林道 の改良工事や災害復旧工事によ り早期に通行を確保する。	林道・林業 専用道の 開設路線数 (整備路線)	指標	3	3	3	3	3	30, 250	33, 250	【実施内容又は未実施理由】 令和4年度は下記の整備を実施した。 ①林道横山岳線開設工事 ②林道大吉寺線開設工事 ③林道施設維持管理業務 (15件) ④林道施設維持補修工事 (5件) ⑤治山施設維持補修工事 (2件) ⑥林道施設改良工事 (2件) ⑦治山施設改良工事 (1件) ⑧林道施設災害復旧業務 (7件) ⑨林道施設災害復旧工事 (1件) ⑩林道パトロール随時実施 【課題等】 市で管理する林道は124路線 (総延長L=200km) で、範囲も広く、すべての 林道の適切な維持管理は困難な状況である。また、近年の度重なる台風や 集中豪雨により災害業務が増加傾向にある。このような状況を踏まえ、 令和5年度から森林組合に林道維持管理業務を一括して委託し、 効率的かつ効果的な林道の維持管理体制を構築する。 (業務内容: パトロール、草刈り、倒木処理、簡易修繕、災害復旧等)	C
						実績	2	2	2						
						達成率 (%)	67	67	67						
					林道維持 増進工事 (路線)	指標	30	30	30	30	30	72, 830	62, 149		
						実績	30	30	30						
						達成率 (%)	100	100	100						
		③ 高性能林業 機械の導入	20 高性能林業機械 導入促進事業	集約化施業に伴い森林組合が導 入する高性能林業機械の導入に 要する経費を補助する。	素材生産量	指標	15, 500	15, 500	15, 500	15, 500	15, 500	0	0	【実施内容又は未実施理由】 丸太木材生産量 9, 346m ³ - 滋賀北部森林組合 (長浜市内のみ) 3, 875m ³ - 長浜市伊香森林組合 5, 471m ³ 【課題等】 集約化の推進や高性能林業機械の導入支援等、素材生産の増加に向けた 取組みを継続するほか、将来的な主伐・再造林に向けた施策転換に備える。	C
						実績	9, 540	8, 663	9, 346						
						達成率 (%)	62	56	60						
高性能林業 機械保有 台数 (台)	指標				15	15	15	15	15	0	0				
	実績				-	14	14								
	達成率 (%)				-	93	93								
【実施内容又は未実施理由】 高性能林業機械保有台数 長浜市伊香森林組合 7台 滋賀北部森林組合 7台 (ほかりース1台) 【課題等】 森林組合の設備投資計画を踏まえながら、必要に応じて、高性能林業機械 の購入に係る支援等を検討する。													A		

基本施策	基本施策の説明	基本施策項目	施策(事業)の名称	施策(事業)概要	取組内容	R2					R4予算額	R5予算額	令和4年度事業実施状況	達成率評価						
						R2	R3	R4	R5	R6										
(6) 環境に配慮した多様な森林づくり	森林の公益的機能、病虫害対策、森林の気象災害、遺跡や史跡に調和した森林など、さまざまな問題や目的に応じた森林づくりを推進する。	① 天然林の保全と活用	21	タブノキ林保全再生事業 【農業振興課】	竹生島タブノキ林の保全再生に向けて、タブノキの植樹するとともに、植樹地の管理(草刈り、整備)、カワウの捕獲、植生被害モニタリング調査等を実施する。	植樹本数	指標(累計)	40	40	40	40	40	4,450	4,450	【実施内容又は未実施理由】 - タブノキ植樹：0本 ※除草作業及び次回植樹に向けた苗の採取を実施 - 竹生島及びその周辺においてカワウの捕獲 1,662羽 - 植生被害モニタリング調査 【課題等】 カワウによる被害拡大防止のため、継続した事業実施が必要。	E				
		② 環境林整備	22	環境林整備事業	道から距離があり採算が合わない等の理由により放置された人工林において、間伐対象木・本数率で20%以上の間伐および林地保全のため簡易施設の設置等を実施する。	実施面積(ha)	指標	60	60	60	60	60					0	0	【実施内容又は未実施理由】 協定締結事務及び交付申請書の経由事務。 - 保育間伐 109.07ha - 剥被害対策テープ設置 0.85ha (保育間伐地での実施) - 枝落とし 0.56ha (") - 作業歩道開設 254.00m 【課題等】 特になし	A
		③ 遺跡・史跡と調和した森林づくり	23	長浜市森林多面的機能推進事業(再掲)	多面的機能の一つである文化機能の発揮支援。史跡・名勝等と一体となり優れた自然景観等を形成する森林において、文化機能の維持増進を図る森林として整備や保全を推進するもの。	支援団体数(団体)	指標	1	1	1	1	1								
		④ 市有林の有効活用	24	市有林有効活用事業	・市有林に存在する木材については、素材生産ではなく個別の樹種の特徴を活かした、付加価値のある商品化を検討する。 ・地域おこし協力隊や新規参入者(講習参加者)のフィールドとして提供する。 ・地域住民が親しむための森づくりを地元と連携して進め、森林の空間利用を促進する。	事業実施回数(回)	指標	5	5	5	5	5	7,443(255)	7,323(66)	【実施内容又は未実施理由】 森林マッチング推進業務委託ほか 5事業14回 - (再掲)①広葉樹施業研修 1回 - 資源採取(②養生アロマ部会・③メープル部会) 8回 - ④地域おこし協力隊員等による森林調査・実践活動 3回 - ⑤成安造形大学との連携(大学カリキュラムへのフィールド提供)2回 【課題等】 地域おこし協力隊員等の実践活動フィールドとして提供するほか、森林資源の経済的活用や企業や大学等との連携による新たな山林の利活用を推進し、市有林の利活用に取り組んでいく。	A				
		⑤ 松くい虫被害対策	25	松林健全化促進事業	松くい虫による被害を未然に防ぐため樹幹注入を実施する。また、被害が多い地域は、松くい虫の被害の拡大を防止するため、被害林の伐倒や薬剤処理を行う。	対象木の地区数(地区)	指標	1	1	1	1	1					0	0	【実施内容又は未実施理由】 早崎町の松に対し実施していたが、令和2年度に対象地が売却され、現在、事業を実施すべき松林はないため未実施。 【課題等】 新たに対策すべき松林があれば、指定や予算化について検討する。	—
		⑥ 獣害対策	26	鳥獣害防止施設等整備事業	スギ・ヒノキ等の人工林において、テープを巻くことでシカ・クマ等による剥皮被害を防止し、森林資源の保全を図る。	実施面積(ha)	指標	120	120	120	120	120								
			27	ニホンジカ対策 【農業振興課】	ニホンジカの捕獲	捕獲数(頭)	指標	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	70,250	72,000	【実施内容又は未実施理由】 市内全域を年間をとおし捕獲を実施 3,653頭 【課題等】 被害軽減のため今後も継続した捕獲対策が必要である。	A				
⑦ 自然災害等	28	滋賀県災害に強い森林づくり事業(里山防災・緩衝帯整備事業)	・人家等に危険を及ぼす危険木の伐倒 ・里山の防災機能を低下させている込み過ぎた上層木の抜伐り、異常侵入竹等の伐倒 ・山地災害危険地区内での簡易な里山防災施設の整備 ・防災整備や管理に必要な里山の簡易な作業歩道・作業路の整備	実施面積(ha)	指標	5	5	5	5	5	5,064	1,800					【実施内容又は未実施理由】 - 湖北町伊部 緩衝帯整備タイプ 1.95ha - 西浅井町塩津中 緩衝帯整備タイプ 3.86ha 合計5.81ha 令和5年度計画：山ノ前 緩衝帯整備タイプ 2.00ha 【課題等】 現在、自治会からの要望を受けて、県補助事業を活用して市事業として取り組んでいるが、令和5年度に県補助事業が見直しされ、重要インフラ施設の保全に係る「風倒木等被害対策」及び獣害対策の「緩衝帯整備」の2事業に見直しが行われた。(「里山防災整備」は廃止された。)	A		